

平成30年7月豪雨に伴い、東広島市黒瀬町において発生した土砂災害（土石流）に対して、広島県が緊急的に実施している災害関連緊急砂防事業について、堰堤工事（本堤部）が完了しました。（令和2年2月12日）引き続き、地域の安全度を高めるため、堰堤周辺部の工事を実施します。

位置図



平面図



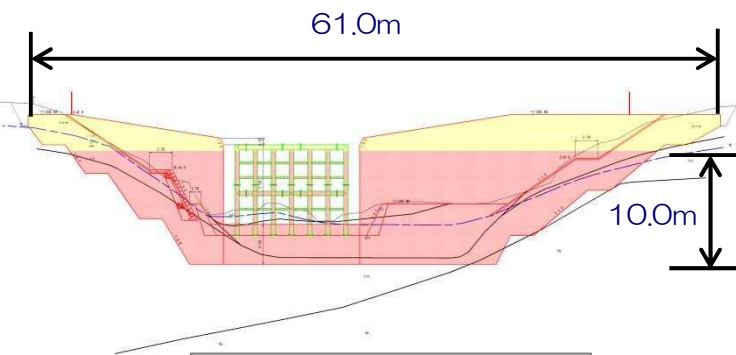
【事業概要】

保全対象：人家111戸
市道L=約4,050m
主な対策：砂防堰堤 1基
高さ10.5m, 幅61m
(緊急事業分：高さ10m)
採択額：約3億円(緊急事業)

【被害状況】

土砂災害発生日：平成30年7月6日
全壊：1戸
半壊：1戸 外

堰堤一般図



設計：株式会社セトウチ
施工：株式会社 明成
発注：西部建設事務所東広島支所

被災状況



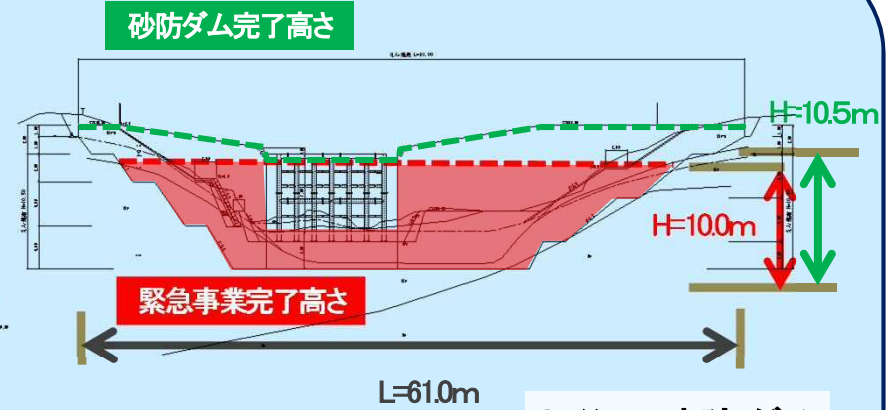
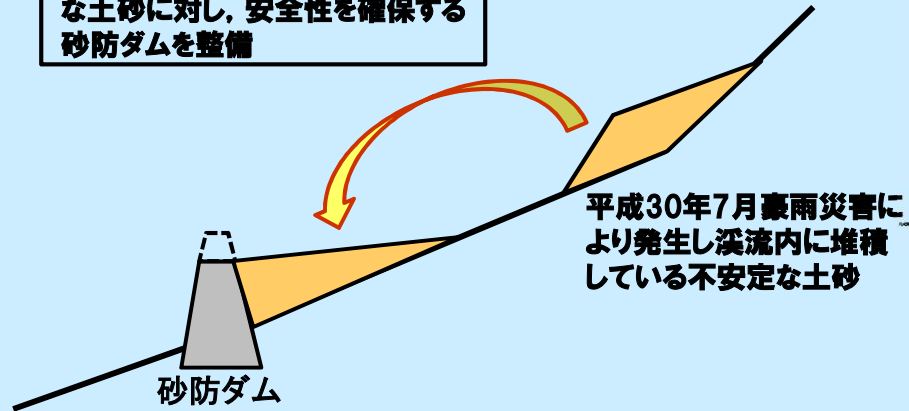
工事完了（令和2年2月12日）



■進捗状況

緊急事業

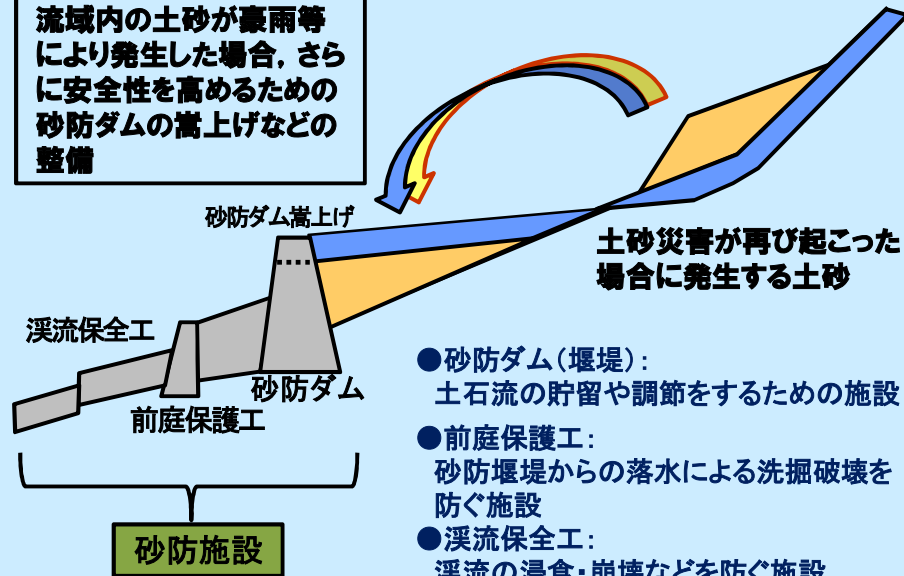
豪雨災害により発生した不安定な土砂に対し、安全性を確保する砂防ダムを整備



小谷川砂防ダム

引き続き行う 流域の安全性を高めるための砂防事業

流域内の土砂が豪雨等により発生した場合、さらに安全性を高めるための砂防ダムの嵩上げなどの整備



- 砂防ダム(堰堤): 土石流の貯留や調節をするための施設
- 前庭保護工: 砂防堰堤からの落水による洗掘破壊を防ぐ施設
- 溪流保全工: 溪流の浸食・崩壊などを防ぐ施設



砂防施設完成イメージ